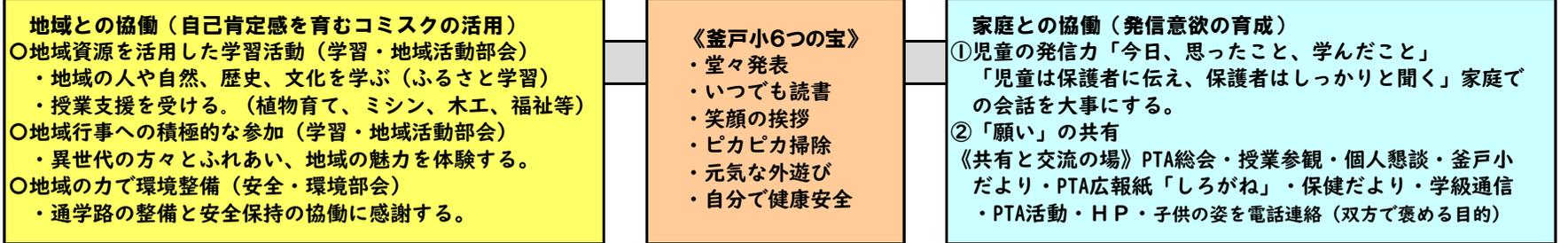


学校の教育目標		
よりよく生きぬく釜っ子		
たくましい子	よく考える子	思いやる子
<p>自分から（進んで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくりをする子</li> <li>・自他の命を守る子（危険から退避する）</li> <li>・あきらめずに挑戦する子</li> </ul>	<p>自分から（進んで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい方法を考える子</li> <li>・仲間の意見を取り入れ、考えを広げたり、深めたり、変更したりする子</li> <li>・めあてをもち、的確に自己評価する子</li> </ul>	<p>自分から（進んで）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝し、ありがとうを伝える子</li> <li>・自他のよさに気付く子</li> <li>・違いを受け入れる子</li> </ul>

<p>【体づくりをする子の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○健康的な生活習慣を身に付けようとする態度を育てる。（家庭との連携）</li> <li>・健康観察で把握：早寝・早起き・朝ごはん・睡眠</li> <li>○外遊びを通して、運動の楽しさを味わおうとする意欲を育てる。</li> <li>・20分休みの外遊び・昼休みの外遊び、学級遊び等</li> </ul>	<p>【よりよい方法を考える子の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題化を大事にする授業を仕組む。</li> <li>・意識のずれを実感し、継続した思考の流れを大事にする（途中で考えを変えることを是とする）</li> <li>○日常生活におきたトラブルを解決する方法は1つではないことを理解し、よりよい方法を考えようとする態度を育てる。</li> </ul>	<p>【感謝し、ありがとうを伝える子の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域・学校の中の「ありがたさ」に気付く態度を育てる。</li> <li>・当たり前になっていることが、誰かの日々の努力の上に成り立っていることを知り、感謝する態度を育てる。</li> <li>・「ありがとう」という感謝の気持ちの伝え方を学び、活用しようとする態度を育てる。（コミスク）</li> </ul>
<p>【自他の命を守る子の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○指示や説明をしっかりと聞き取る態度を育てる。</li> <li>・行事訓練以外にもシェイクアウト訓練等を行う。</li> <li>○意識的に病気や危険から遠ざかる実践力を育てる。</li> <li>・感染症・交通事故・水難事故の指導。</li> <li>○SOSを出す技能を育てる。</li> <li>・自分が困ったときに相談する人を想定させておく。</li> <li>・「自分の命＝相手の命」の大切さを指導する。</li> </ul>	<p>【仲間の意見を取り入れ、考えを広げたり、深めたり、変更したりする子の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の終末において、考えの変容や根拠を価値付ける。→自己有用感を高める。</li> <li>・自分の考えをもち、仲間と交流することで意見を変えたり、深めたりするよう促す。</li> <li>○トラブル解決に向けて、自他の思いの共有に導く指導を行う。</li> </ul>	<p>【仲間・自分のよさに気付く子の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○仲間と生活するにあたり、仲間のよさを見付け、互いに紹介し合う活動（よさ見付け）を通して、自他のよさを見付けようとする態度を育てる。</li> <li>・学級におけるよさ見付けを帰りの会に位置付ける。</li> <li>・教師が「よさ見付けの視点」を発達段階に応じて指導する。</li> <li>・計画的にハッピーメッセージの活動を行う。</li> </ul>
<p>【あきらめずに挑戦する子の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○夢や憧れをもつ機会を提供する。（コミスク）</li> <li>・本物に触れる機会を与える。</li> <li>・自己の変容を価値付ける。</li> <li>○鉄棒や縄跳びなどの技の完成を課題とする場面において、あきらめずに練習する。</li> </ul>	<p>【めあてをもち、的確に自己評価する子の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分に合った生活・学習のめあてを「見える化」し、定期的に自己評価、他者評価を行う。</li> <li>・自己評価を大切に、スモールステップで次のめあてを設定する。</li> </ul>	<p>【違いを受け入れる子の育成】（人権尊重）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○違いを理解し、受け入れようとする態度を育てる。</li> <li>・時には折り合いも必要と考える。</li> <li>・何でも話せる安心感の中で気持ちを吐露する。</li> <li>・根拠をもって意見を対立する（違いは大事）。</li> <li>○差別・いじめをゆるさない態度を育てる。</li> <li>・自他ともに心や体を傷付ける言動をしない。</li> </ul>

**釜戸小の強み**



《めざす職員像》 役割遂行 & 温かくつながるTEAM釜小			
<p>○命を守り切る職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット共有→即時対応</li> <li>・「命」を最優先させる</li> <li>・危機管理の「さしすせそ」</li> </ul>	<p>○ウエルビーイングを築き合う職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働きがいと働きやすさの「両立」</li> <li>・「今やること」の見極め、声かけ</li> <li>・仲間とHELPの出し合い、助け合い</li> <li>・保護者（児童）と温かい関係づくり</li> </ul>	<p>○自らの主張がある職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感の育成に持論をもつ</li> <li>・組織の中の立場で提案する</li> <li>・自他の折り合いを付ける</li> </ul>	<p>○プロ意識と良識のある職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意図的、計画的、組織的な実践</li> <li>・PDCAサイクルで実現する質の向上</li> <li>・姿や言動が与える影響の自覚</li> <li>・研修で高める知識と意識</li> </ul>